

ご支援のお願い

東京大学大学院理学系研究科物理学専攻および物理学科では、先端的研究を基礎から学ぶ教育プログラムに基づいたカリキュラムを実践し、幅広い分野において世界的なレベルの研究を推進しています。

近年、国立大学をめぐる環境が大きく変化する中、最先端の研究を進め、新たな知見を生み出し続けるためには、優秀な研究者や学生が十分に学び、研究に専念できる環境の整備が不可欠です。また、研究成果を広く社会に還元できる仕組みを構築することが求められています。

物理の最前線の活動を通して一歩先の未来を共に創るべく、皆さまからのご支援をどうぞ宜しくお願い申し上げます。

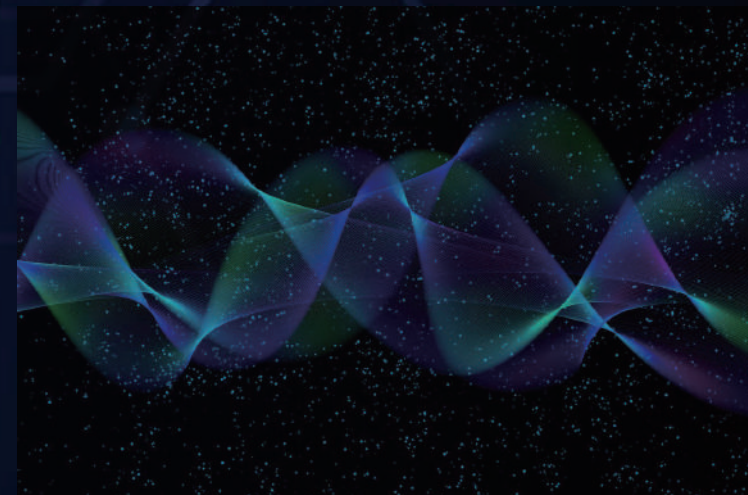
PHYSICS

東京大学理学部物理学科・大学院理学系研究科物理学専攻
Department of Physics, Faculty of science & Graduate school of Science, The University of Tokyo

理学系研究科物理学専攻は、理学部物理学科に所属する教員に加え、物性研究所や、宇宙線研究所を含む14の学内組織、さらには高エネルギー加速器研究機構、理化学研究所、宇宙航空研究開発機構といった外部機関の教員も参加する、世界最大規模の物理学の教育・研究拠点です。理学部物理学科には約40名の教授・准教授・講師が在籍し、学部・大学院教育において、広大な物理学のあらゆる領域を網羅し幅広い分野で活躍する人材の育成・輩出を目指しています。

自然界の成り立ちや仕組みを理解することで、自然科学の新たな地平を切り拓き、物理学を社会の課題解決に活かすべく、日々探究を続け、その発展を目指しています。

理学部物理支援基金



物理学の最前線へ

一歩先の未来を共に創りませんか？

ご寄付の主な活用



・物理学の研究と教育の基盤構築



・大学院生（若手研究者）の育成



・研究・修学環境の充実



・社会連携・アウトリーチ活動

寄付者や物理学に関心を持つあらゆる方々が参加できるイベントやセミナーを企画し、この分野の発展を目指します。

ご寄付のご案内

振込取扱票によるお申し込み

振込取扱票の支援プロジェクト名「理学部物理支援基金」をご指定ください。

インターネットからのお申し込み

<https://utf.u-tokyo.ac.jp/project/pjt204>



ご寄付に関するお問い合わせ

東京大学基金事務局

Tel : 03-5841-1217

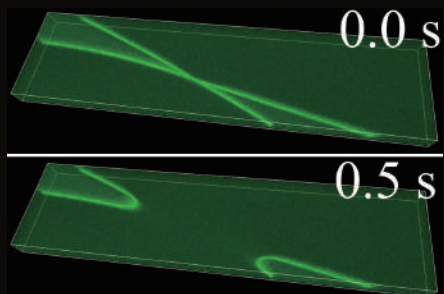
Mail : kikin.adm@gs.mail.u-tokyo.ac.jp

税法上の優遇措置

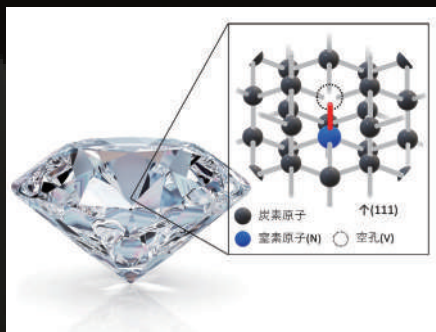
寄付金控除（所得控除）の対象となります。
詳しくはお問い合わせください、



研究・教育紹介



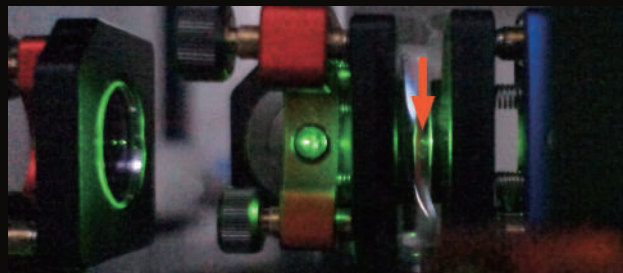
液晶トポロジカル線欠陥の再結合過程の可視化
(Zushi & Takeuchi, PNAS 2022)。液晶中の欠陥ダイナミクスについての研究は、非平衡状態の理解に重要な手がかりを与える。



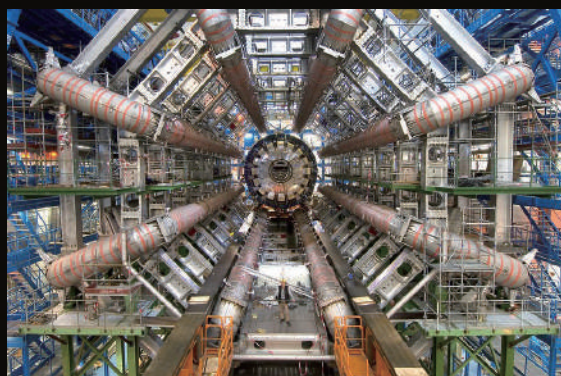
ダイヤモンドとその内部に存在するNV中心。量子計測に利用される。



宇宙MeVガンマ線観測計画GRAMSに向けた工学実証大気球実験。北海道大樹町から早朝に放球された。

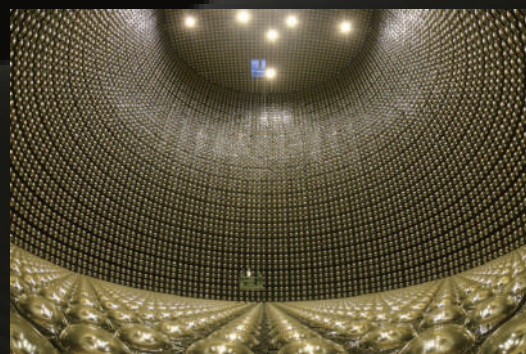


赤外レーザーを打ち返して生成した光格子に、ナノ粒子が空気中で捕捉されている様子。観測のために緑色のレーザーを照射している。浮揚オプトメカニクスの研究により、物性研究から精密測定まで、様々な応用が期待される。



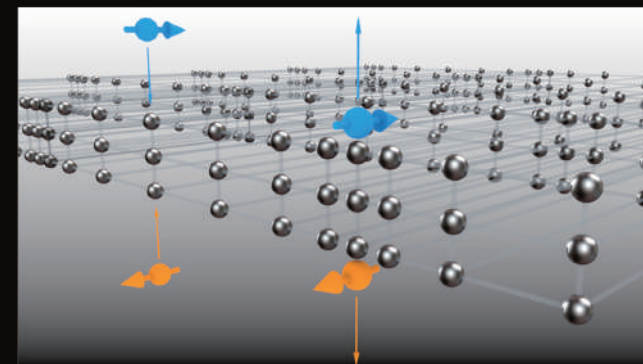
©CERN

CERN (欧州合同原子核研究機構) のLHC (大型ハドロン衝突型加速器) での素粒子実験に使われているATLAS検出器。



©東京大学宇宙線研究所

世界最大の水チェレンコフ宇宙素粒子観測装置、スーパーカミオカンデ検出器の内部。現在、後継実験ハイパーカミオカンデの建設が進んでいる。



原子の振動がスピンの流れを生み出す様子の模式図。格子振動がスピン軌道相互作用を介して電子スピンと結合するという、新しい形の相互作用を示唆する。



物理学の講義風景。物理学を基礎から一步一步学び、先端的研究に到達する教育プログラムにより、社会の幅広い分野で活躍する人材を育成する。

物理学専攻HP

<https://www.phys.s.u-tokyo.ac.jp/>

